

あなたの本音、聞かせてください

市民意識調査

調査



市では、市民のみなさんの市の施策に対する評価とまちづくりへのニーズなどを統計的に把握し、今後の市政に生かすため、「市民意識調査」を毎年実施しています。ご自宅に調査票が届きましたら、ご協力をお願いします。

この調査では、さまざまな分野に関する設問を設けています。特に市の施策に対する満足度と重要度に関する設問については、今後の市の方針を考える上で重要な指標です。また、今回の調査では、「伊吹山」の活性化に向けた取組の参考とするため、「伊吹山」に関する設問などを追加しています。

Ⅱ平成26年度調査概要Ⅱ

調査票配布 6月下旬

回答期限 7月15日(火)

調査対象 市内在住の18歳以上

2000人

※無作為抽出のため、同一世帯で複数の人に調査票が届く場合があります。

調査方法 郵送による

配布・回収

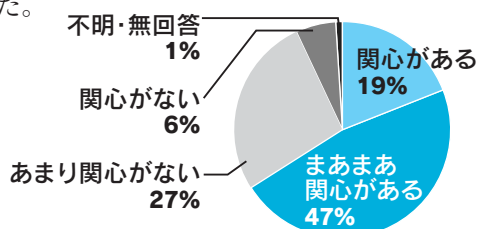


平成25年度の調査データ

▶配布数	2,000票	80歳以上	104人
▶回収数	937票	70歳代	172人
	(有効回答)	60歳代	186人
▶回収率	46.9%	50歳代	154人
		40歳代	126人
男性	424人	30歳代	101人
女性	476人	10～20歳代	90人
不明	37人	不明	4人
合計	937人	合計	937人

市民の約7割が「市政に関心がある」

「市政に関心をお持ちですか」という設問では、「関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせると66%となっています。これは、設問を設定した平成22年度以降で最高の数値となりました。



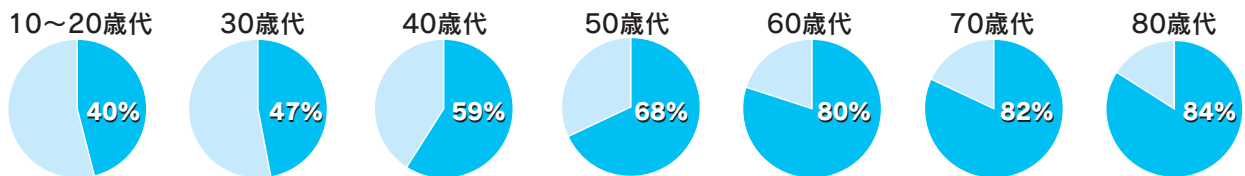
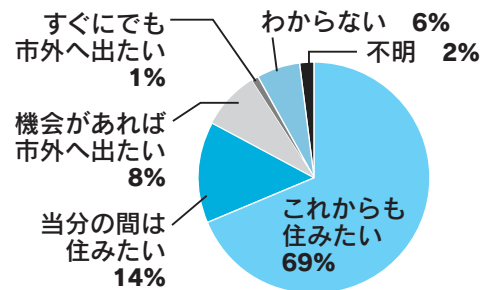
平成25年度の市民意識調査から見える米原市の姿

平成25年7月、無作為に抽出した2000人の市民のみなさんを対象に市民意識調査を行いました。その調査結果の一部を紹介します。今まで行った過去の調査結果は、市公式ウェブサイトおよび市役所各庁舎、各図書館の情報プラザでご覧いただけます。

市民の約7割が「これからも米原市に住みたい」

「これからも米原市に住みたいと思いますか」という設問では、約7割の市民が「これからも住みたい」と回答しています。

年代別に見ると、10～20歳代では40%、80歳代では84%と年代が上がるにつれて「これからも住みたい」と考える割合が高くなっています。



住み続けたい理由は、「愛着があるから」

「今後も住みたい理由はなんですか」という設問では、「これからも住みたい」または「当分の間は住みたい」と答えた人の約6割が「永く住んでいて愛着があるから」と回答しています。年代別に見ると、「愛着があるから」は共通して割合が高く、40歳代以下の若い世代では、次いで「自然環境がよいから」の割合が高く、また50歳代以上では「先祖から受け継いだ土地があるから」の割合が高くなっています。

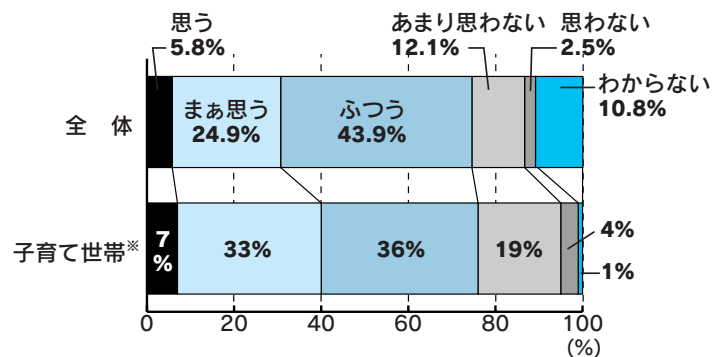
	永く住んでいて 愛着があるから	先祖から受け継い だ土地があるから	自然環境が よいから
10～20歳代	63.8	34.5	51.7
30歳代	41.3	29.3	44.0
40歳代	46.5	32.3	45.5
50歳代	69.0	61.1	40.5
60歳代	65.5	61.2	49.7
70歳代	69.0	62.7	47.5
80歳以上	67.0	64.9	46.8
合 計	62.2	53.1	46.5

※割合が高い選択肢3つを記載（単位：％）

子育て世帯の約4割が「米原市は子育てしやすい」

「米原市を子育てしやすいまちだと思いますか」という設問では、15歳以下の子どもがいる20歳代から40歳代までは、「思う」「まあ思う」が40%となり、全体の割合よりも子育て世帯の割合が高くなっています。

「あまり思わない」「思わない」という回答は、合わせて23%で、その理由については、「子どもが安心して遊べる場所が少ない」が50%と最も多い割合でした。



※15歳以下の子どもがいる20歳代から40歳代の回答集計

お問い合わせ 政策推進部 政策推進課（米原庁舎）

☎ 52-6626 📠 52-5195